

京 都 府 工 業 用 水 道 事 業 会 計

1 令和5年度京都府工業用水道事業会計補正予算（第1号）実施計画

収 益 の 支 出

支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 工業用水道事業費用	1 営業費用		千円 375,620	千円 1,072	千円 376,692	
			374,862	1,072	375,934	
		1 原水、浄水及び送水費	219,261	615	219,876	事業所職員給与費
		2 総係費	18,923	457	19,380	本庁職員給与費
		3 減価償却費	136,677	0	136,677	
		4 資産減耗費	1	0	1	
		2 営業外費用	257	0	257	
		1 支払利息	256	0	256	
		2 雑支出	1	0	1	
		3 特別損失	1	0	1	
		1 過年度損益修正損	1	0	1	
		4 予備費	500	0	500	
		1 予備費	500	0	500	

2 令和5年度京都府工業用水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

(1) 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	△ 61,180,000
減価償却費	136,677,000
資産減耗費	1,000
引当金の増減額 (△は減少)	△ 11,825,000
長期前受金戻入額	△ 48,910,000
受取利息	△ 16,000
支払利息	256,000
未収金の増減額 (△は増加)	19,905,668
未払金の増減額 (△は減少)	<u>△ 35,213,497</u>
小計	△ 304,829
利息の受取額	16,000
利息の支払額	<u>△ 256,000</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 544,829
(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 207,253,331
有形固定資産の売却による収入	1,000
国庫補助金等による収入	<u>29,514,375</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 177,737,956
(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	81,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△ 39,587,419</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,412,581
資金増加額 (又は減少額)	△ 136,870,204
資金期首残高	<u>740,924,468</u>
資金期末残高	<u>604,054,264</u>

3 給与費明細書

(1) 総括

区分	職員数		給	
	特別職	一般職	報酬	給料
補正前	0	6 (0)	3,238	21,214
補正	0	0 (0)	172	364
補正後	0	6 (0)	3,410	21,578

(注) ( )内は、短時間勤務職員で外書きである。

手当	費計	法定福利費	合計
18,530	42,982	8,283	51,265
467	1,003	69	1,072
18,997	43,985	8,352	52,337

補正額の 手当の内訳	区分	地域手当	時間外勤務手当	期末手当
	補正前	1,069	902	5,982
	補正	26	75	196
	補正後	1,095	977	6,178

勤勉手当
4,603
170
4,773

ア 常勤の職員及び短時間勤務職員(会計年度任用職員を除く)

区 分	職 員 数		給	
	特 別 職	一 般 職	報 酬	給 料
補 正 前	0	6 (0)	0	21,214
補 正	0	0 (0)	0	364
補 正 後	0	6 (0)	0	21,578

(注1) この表は、給料をもって支弁される「イ会計年度任用職員」以外の一般職の職員(事業費支弁に係る職員を含む。)で予算の積算の基礎  
(注2) ( )内は、短時間勤務職員で外書きである。

補 正 額 の 手 当 の 内 訳	区 分	地 域 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	期 末 手 当
	補 正 前	1,069	902	5,415
	補 正	26	75	182
	補 正 後	1,095	977	5,597

イ 会計年度任用職員

区 分	給 与 費		
	報 酬	期 末 手 当	計
補 正 前	3,238	567	3,805
補 正	172	14	186
補 正 後	3,410	581	3,991

(注) この表は、報酬をもって支弁される会計年度任用職員(事業費支弁に係る職員を含む。)で予算の積算の基礎となったものである。

与 手 当	費 計	法 定 福 利 費	合 計
			17,963
453	817	68	885
18,416	39,994	7,799	47,793

となったものである。

勤 勉 手 当
4,603
170
4,773

法 定 福 利 費	合 計
552	4,357
1	187
553	4,544

(2) 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増 減 額 <small>千円</small>	増 減 事 由 別 内 訳		説 明
		<small>千円</small>	<small>千円</small>	
給 料	364	1 給与改定に伴う増減分	364	
		2 その他の増減分	—	
手 当	467	1 制度改正に伴う増減分	230	期末手当 115 千円 勤勉手当 115 千円
		2 その他の増減分	237	給与改定に伴うもの

備 考		
給与改定の状況		
本 年 度	給 料 の 改 定 率	1.72%
	給 与 改 定 実 施 時 期	令和5年4月1日

(3) 給料及び手当の状況

ア 職員1人当たりの給与

区 分		行 政 職
給 与 改 定 前	平均給料月額	299,320 <small>円</small>
	平均給与月額	363,200
給 与 改 定 後	平均給料月額	292,600
	平均給与月額	351,333
令和5年10月1日現在	平均年齢	40.2 <small>歳</small>

イ 初 任 給

区 分		行 政 職
高 校 卒		173,000
大 学 卒		204,900
一般会計の制度	高 校 卒	173,000
	大 学 卒	204,900

ウ 期末・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計
	6 月	12 月	
補 正 前	2.20 (1.1625)	2.20 (1.1625)	4.40 (2.325)
補 正 後	2.25 (1.1875)	2.25 (1.1875)	4.50 (2.375)
一 般 会 計 の 制 度	2.25 (1.1875)	2.25 (1.1875)	4.50 (2.375)

(注) ( )内は、再任用職員である。

職制上の段階、職務の級等による加算措置	備 考
有	
有	
有	

4 令和5年度京都府工業用水道事業予定貸借対照表

(令和6年3月31日)

勘 定 科 目	金 額		
資産の部（借方）			
1 固定資産			
(1) 有形固定資産	5,422,000,376		
減価償却累計額	△ 3,171,071,231	2,250,929,145	
(2) 無形固定資産		50,300	
(3) 建設仮勘定		357,750,538	
固定資産合計			2,608,729,983
2 流動資産			
(1) 現金・預金		604,054,264	
(2) 未収金		29,630,608	
(3) 貯蔵品		294,840	
流動資産合計			633,979,712
資産合計			3,242,709,695
負債の部（貸方）			
3 固定負債			
(1) 企業債		273,291,472	
(2) 引当金		148,655,474	
固定負債合計			421,946,946
4 流動負債			
(1) 企業債		46,492,712	
(2) 引当金		3,550,000	
(3) その他流動負債		729,889	
流動負債合計			50,772,601
5 繰延収益			
(1) 長期前受金	2,684,968,455		
長期前受金収益化累計額	△ 1,807,138,082	877,830,373	
繰延収益合計			877,830,373
負債合計			1,350,549,920
資本の部（貸方）			

勘 定 科 目	金 額		
6 資本金			1,871,642,447
7 剰余金			
(1) 資本剰余金		65,844,417	
(2) 利益剰余金			
了当年度未処分利益剰余金	△ 45,327,089		
利益剰余金合計		△ 45,327,089	
剰余金合計			20,517,328
資本合計			1,892,159,775
負債資本合計			3,242,709,695



## 注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ア 有形固定資産

##### (ア) 減価償却の方法

定額法

##### (イ) 主な耐用年数

建物 15～38年

構築物 10～60年

機械及び装置 6～20年

工具器具及び備品 5～15年

#### (3) 引当金の計上方法

「京都府公営企業引当金取扱要領」に基づき計上している。

##### ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

##### イ 修繕引当金

平成25年度末以前に計上されていた修繕引当金を計上している。

##### ウ 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支払いに備えるため、当年度末における支給（支払）見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4箇月分）を計上している。

##### エ 貸倒引当金

予定貸借対照表に未収金の計上があるが、債務者が限定され、かつ、これまで貸倒実績もないため、貸倒引当金を計上していない。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

### 2 リース契約により使用する固定資産

#### リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### 3 その他の注記

#### 引当金の取り崩し

#### (1) 修繕引当金の取り崩し

当年度において、修繕引当金から15,000千円を取り崩す。

#### (2) 賞与引当金及び法定福利費引当金の取り崩し

当年度において、賞与引当金及び法定福利費引当金から3,484千円を取り崩す。

